

植生管理計画一覧表（平成26年8月1日現在）

ゾーン名称	ブロック名称	記号	目標植生
雑木林 保全区	野鳥の森地区	A01	<p>[樹林]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きな落葉広葉樹の高木と疎らな低木や亜高木によってできる大きくて変化に富む空間 ・野鳥たちにとって快適で居心地の良いものとなり、暑い夏も、寒い冬も、楽しく探鳥できるような雑木林 <p>[林床]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適切な下草刈りによって、県内でも稀少な植物、生田緑地を特徴づける植物などが保全されている林床 <p>[水辺]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔から命を引き継いできた生物の棲息環境が保全されている水辺
	中央広場西側地区	A02	<ul style="list-style-type: none"> ・生田緑地を代表する野鳥が安心して営巣できる雑木林
	七草峠地区	A04	<ul style="list-style-type: none"> ・中央幹線園路に面する崖面であり、早春から晩秋まで、在来の里山の草花を楽しめるように管理された草地
	ピクニック広場地区	A05	<p>[樹林]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周囲にはアズマネザサの深い茂みを残し、哺乳類や地上性の野鳥の生息場所になる雑木林 <p>[草地]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内でも稀少となった植物をはじめ、チョウの吸蜜源となる多様な草花が咲く草地
	萌芽更新地区	A06	<p>[樹林]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統的里山管理手法としての萌芽更新を繰り返し、里山管理の観察学習にも利用できるようなクスギ・コナラ林 <p>[林床]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春から秋にかけて多摩丘陵の在来の草花を園路から楽しめるように適度に管理された林床
	芝生広場地区	A09	<ul style="list-style-type: none"> ・高木層と草本層のみの構成とし、林床は広場的に利用される草地 ・魅力的な里山の植物の生育に配慮した管理がなされている草地広場
	枡形山広場地区	A11	<ul style="list-style-type: none"> ・桜の花見を楽しみ、里山の自然にも触れられる広場
	枡形山下広場地区	A12	<ul style="list-style-type: none"> ・南方向の眺望を楽しめる、明るく、清潔に管理された雑木林
	東口北側地区	A13	<p>[樹林]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・典型的な明るい雑木林 <p>[林床]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生田緑地の自然の指標となる稀少な植物が生育している林床
	飯室山南地区	A14	<ul style="list-style-type: none"> ・落葉広葉樹を主体とする雑木林 ・皆伐更新地区をコナラ林に育成し、この経験を踏まえて、雑木林の更新を計画・推進する地区
	飯室山北地区	A15	<ul style="list-style-type: none"> ・生田緑地の中でも特異な植生などが見られる地区であるため、現況植生を保全しながら、来園者が気持ちよく感じることでできる園路
	おし沼峠地区	A16	<ul style="list-style-type: none"> ・コナラ、クスギを主にする雑木林
	見晴台周辺地区	A17	<ul style="list-style-type: none"> ・自然探勝路に面した幅刈りにより防火対策と、眺望を確保して気持ちよく歩ける地区 ・生田緑地の中でも生育地が限られている植物については保護する地区

ゾーン名称	ブロック名称	記号	目標植生
	ピクニック広場下の凹地区	A18	・園路沿いのアズマネザサなどは定期的に刈り取って、里山歩きを楽しくしてくれるような草本の生育する地区
	菖蒲池北側地区	A21	・中央園路沿いの崖面については、シダ植物および秋は野菊に出会える場所
	中央園路南側斜面地区	A22	・野鳥の棲息地として、アズマネザサの繁茂する雑木林
	中央広場南地区	A23	・生物の生息環境の中に広場があるため、生田緑地として重要な植生や生物の保護を図りながら、自然の中で過ごす気持ちよさを味わってもらえるような雑木林
	ホテルの里東斜面地区	A24	[樹林] ・稀少な草本の生育する雑木林 [林床] ・適度な間伐を加えた明るい林床
	枅形山北地区	A25	・アズマネザサの茂みを残しながら、自然探勝路沿いの林床で里山の草花などを楽しめるような雑木林
	中央広場北側地区	A26	・ヤマツツジなどが咲く、明るい雑木林
	おし沼地区	A27	・子供たちが思いっきり遊べる雑木林
ハンノキ林 保全区	ハンノキ林地区	A07	[樹林] ・ハンノキが優占し、ハンノキ林固有の生物が生息している林 [水辺] ・水辺の甲虫類など、生田緑地の自然の指標となる生物が生息し続けられる水辺、湿地
竹林利用区	竹林地区	A08	[樹林] ・竹林を適度に残した雑木林 [水辺] ・在来水辺の生物が生息し続けられるように管理された水流
里山広場的 利用区	つつじ山地区	A03	・生田緑地で最も標高の高い場所であることを生かし、遠くから旅をしてくる野鳥たちの道標となる高くて、こんもりとした樹林 ・疎らな高木と、管理された低木がある広場的に利用できる草地の両方のバランスのとれた丘
水辺等再生・ 保全区	中央広場南地区	A23	・生物の生息環境の中に広場があるため、生田緑地として重要な植生や生物の保護を図りながら、自然の中で過ごす気持ちよさを味わってもらえるような雑木林
	青少年科学館裏谷戸地区	B02	・生田緑地を特徴づける貴重な生物が生き続けられる水辺や湿地
	旧岡本谷戸地区	B03	・生田緑地を特徴づける貴重な生物が生き続けられる水辺や湿地
	奥の池地区	B04	・ホトケドジョウやギバチが生息できるような清らかな水域
	湿地再生地区	B05	・稀少植物などが保護されている谷戸の奥の棚田状の水辺・湿地
	上の田圃地区	B06	・在来の生物の繁殖・棲息地となる田圃や湿地
	下の田圃周辺地区	B07	・在来の生物の繁殖・棲息地となる田圃や湿地
	ヨシ原地区	B08	・ヨシなどの草本が繁茂する高茎湿地
	城山下谷戸湿地再生地区	B09	・昔のようにゲンジボタルが生息できるような水辺
	城山下谷戸合流付近地区	B10	・湿性草地
生物保護区	城山下谷戸地区	B11	・鬱蒼とした樹林と湿地
園地利用区	梅園地区	C01	・健全に育成管理された梅林
	梅畑地区	C02	・健全に育成管理された梅畑
	苗木畑地区	C03	・雑木林更新のためのクヌギ、コナラの苗木畑